

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

東近江市長 小 椋 正 清

| | |
|-------------------|-------------------|
| 市町村名 (市町村コード) | 東近江市 (252131) |
| 地域名 (地域内農業集落名) | 土器 (土器町) |
| 協議の結果を取りまとめた年月日 | 令和7年2月3日 (第1回) |

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。
注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

・今後認定農業者等が引き受ける意向のある農地面積よりも、後継者不在の農業者の農地面積が、非常に多く、新たな農地の受け手の確保が必要。
・水田は、現状和田農園と集落営農法人土里夢での2択です。今後、大きな課題になります。
・地域の活性化を図るため新たな作物としても中々土壌が粘土質の為米作ぐらいしか取り組めない。小麦を減反地での取組をしているが他町よりは収穫が少ない。

(2) 地域における農業の将来の在り方

・土器集落は集落営農法人土里夢に集約化を進めつつ、地域外から希望する認定農業者や認定新規就農者を受入れ、さらに農業を担う者を募り、地域全体で利用する仕組みの整備を進める。
・粘土質のため、水稻を中心に栽培を行っていく。

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

| | |
|----------------------------------|---------|
| 区域内の農用地等面積 | 33.7 ha |
| うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積 | 33.7 ha |
| (うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積)【任意記載事項】 | ha |

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

農振農用地区域内の農地を農業上の利用が行われる区域とする。

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

| |
|--|
| (1) 農用地の集積、集約化の方針 |
| 担い手を中心に集積・集約化を進め、団地面積の拡大を農業委員と調整し、農地バンクを通じて進める。 |
| (2) 農地中間管理機構の活用方針 |
| 地域全体を農地バンクに貸し付け、担い手への経営意向を踏まえ、段階的に集約化する。その際農業委員と調整し、所有者の貸付意向時期に配慮する。 |
| (3) 基盤整備事業への取組方針 |
| 土器集落において、農地の大区画化・汎用化等の基盤整備を計画する。 |
| (4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針 |
| 地域内外から、多様な経営体を募り、意向を踏まえながら担い手として育成していくため、市及びJAと連携し、相談から定着まで切れ目なく取り組んでいく。 |
| (5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針 |
| 作業の効率化が期待できる防除作業は、ドローンを使ったサービス事業の委託を考慮し進めて行こうと思案中 |

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください)

| | | | | |
|--|--------------------------------------|---|-----------------------------------|-------------------------------|
| <input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策 | <input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料 | <input checked="" type="checkbox"/> ③スマート農業 | <input type="checkbox"/> ④畑地化・輸出等 | <input type="checkbox"/> ⑤果樹等 |
| <input checked="" type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等 | <input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等 | <input type="checkbox"/> ⑧農業用施設 | <input type="checkbox"/> ⑨耕畜連携等 | <input type="checkbox"/> ⑩その他 |
| 【選択した上記の取組方針】 | | | | |
| ① 獣害対策フェンスの設置及び維持管理 ③ スマート農業機器を導入し作業の効率化を図る。 ⑥ 転作物として燃料・資源作物等の栽培を検討していく。 | | | | |